



大学院発



地方創生

鹿児島大学大学院保健学研究科における

「職業実践力育成プログラム」(BP) 認定について

BPとは？

大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(Brush up Program for professional)として文部科学大臣が認定するもの。

- 認定により
- ◆ 大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な課程の提供の拡大
 - ◆ 社会人の学び直す選択肢の可視化

鹿児島大学大学院保健学研究科におけるBPの認定

大学院保健学研究科の3つの課程が「BP」として、平成29年12月に認定されました。(平成30年4月開講開始分から)

- ◆ 看護学領域 基礎看護・地域看護学分野 放射線看護専門コース
- ◆ 理学療法・作業療法学領域 理学療法学分野
- ◆ 理学療法・作業療法学領域 理学療法学分野

保健学専攻博士(前期)課程として、2年の修業期間となります。社会人入学者の学修を容易にするために、昼夜開講制による教育を実施。社会人の方も学びやすい環境を提供します。

放射線看護専門コース

【概要】

放射線診療及び被ばく医療の特殊性を踏まえて、対象及び家族に対して、的確な看護判断ができることで、高度な判断に基づく看護実践を提供する能力、対象及び家族に必要なケアが円滑に提供されるために、医療チームカンファレンスや指導・相談に関わることで、専門職間の連携調整ができる能力、ケア提供者に対して、効果的なコンサルテーションができる能力を持つ人材を養成

【身につけられる能力等】

- ① 放射線に関する基礎的・専門的知識
- ② 原子力災害等による被ばくとその影響、被ばく患者の診療、被ばく線量評価、原子力災害時の医療体制や政策、専門職種連携に関する知識

【概要】

地域の保健医療活動の充実、質の向上に貢献できるように自ら学び続けることのできる高度専門医療職としての理学療法士及び作業療法士を育成することを目的とする。そのために、理学療法士・作業療法士として地域の医療機関に勤務している社会人学生においては、実践で獲得してきた能力や経験を本課程での学修を元に振り返り、理論的に検討し、新たな科学的知見を根拠付けるなどにより、説明可能なものとして捉え直すことができるようとする。そして、質の高い実践や研究、後継者の育成、チーム医療推進に関わるスキルアップを図り、地域医療への貢献意欲の高い人材を育成する。

【身につけられる能力等】

理学療法学分野

- ① 運動器系、神経系、呼吸・循環器系における種々の疾患に起因する機能障害に関する知識
- ② 臨床の場で研究的手法を用いることによる臨床能力

作業療法学分野

- ① 心身機能障害に対して、それらの応用動作能力又は社会的適応能力の回復を図るための基盤的・先端的な作業療法学に関する知識
- ② 医療機関に留まらず地域社会をその実施基盤として包含する作業療法の新たな理論の修得